



# ソルガムを利用した露地野菜のカリ減肥技術を開発

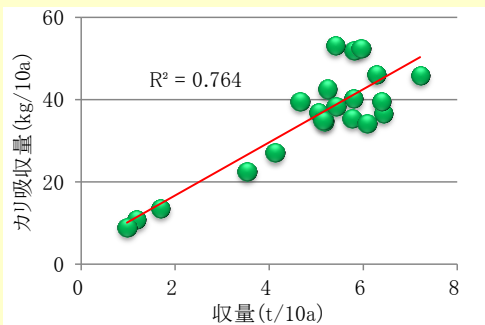
— 緑肥によりカリを20kg/10a減肥できます —

## 開発の背景・ニーズ

イネ科緑肥のソルガムは、カリを多く吸収します。夏季にソルガムを栽培することで、ソルガムが降雨によるカリの流亡を抑制し、地下のカリウムを地上部に集めます。このため、すき込み後にソルガムから放出されるカリを利用することで、後作でのカリ減肥が可能と考えられました。そこで、ソルガムのカリ吸収特性及びすき込み後の肥効を調査し、ソルガム後作キャベツでのカリ減肥の実証試験に取り組みました。

## 成果の内容

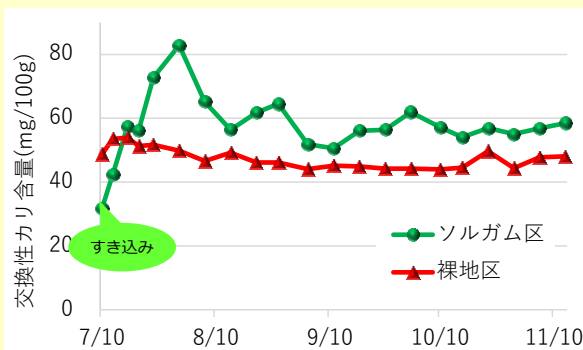
- ソルガムは生育が旺盛なためカリの吸収量が多く、順調に生育した場合、5t/10a以上の収量となり、30kg/10a以上のカリ吸収量が期待できます。
- ソルガムが吸収したカリは、すき込み後すみやかに放出され、土壌中交換性カリ含量の増加に寄与します。
- ソルガム後作キャベツで3年間カリを20kg/10a程度減肥して栽培しても、土壌中交換性カリ含量は減少せず、カリの減肥が可能であることを明らかにしました。



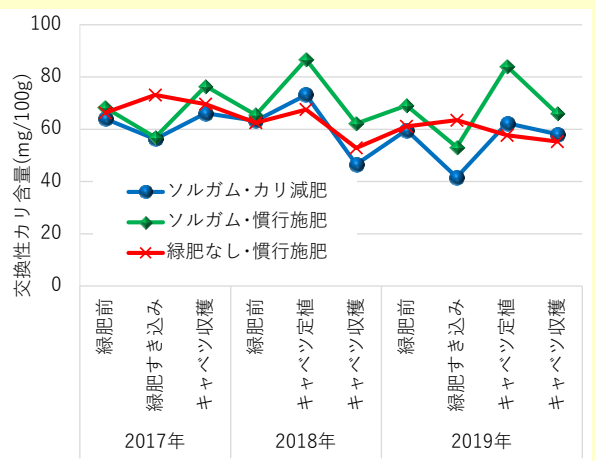
ソルガムの収量とカリ吸収量の関係



ソルガム



ソルガムすき込みほ場の交換性カリ含量の推移



カリ減肥試験ほ場の交換性カリの推移

## 愛知県農業への貢献

ソルガムの後作キャベツではカリを20kg/10a削減できます。これにより、露地野菜の施肥コスト低減に寄与します。

【本研究は、農水省委託プロジェクト研究で実施しました。】